

# スマイルまなづる 134号

真鶴町立まなづる小学校  
令和5年度学校だより  
令和6年2月27日(火)

学校教育目標

## 「考える 関わる 創りだす」

～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



### 【考える・創りだす】6年生に感謝を込めて

2月16日(金)体育館は、感動であふれました。

5年生が中心となって企画・運営してきた「6年生を送る会」が開催されたからです。

6年生にはサプライズにしたい!と全校で心を合わせてこっそりと準備を進めてきました。各学年でいろいろなかたちにして6年生に感謝の気持ちを伝えました。その在校生の姿と、伝えられた6年生の表情から、6年生が全校のみんなのためにしてきてくれたことが再現されたように感じました。5年生がこの日のためにと考えに考えた会は、まなづる小にしかできない素晴らしい会でした。



3年生が描いた似顔絵



なかよし班のみんなからの手紙

### 【考える・関わる】ご来校ありがとうございました

2月9日(金)1～5時間目まで授業を公開しました。基礎学習を習得する学習であったり、学習のまとめを発表する学習であったり、と様々な学習を見ていただきました。1学期に比べ、たくさんの成長が見られたと思います。ぜひ言葉にして伝えてあげてください。



1年生「はし名人になろう」

6年生「跳び箱」



ひまわり「音楽劇 スイミー」



※「6年生を送る会」「学校公開日」はHPでも紹介しています

裏面もあります

【関わる・創りだす】

令和6年度より

## コミュニティ・スクールが始まります②

これまで学校評議員会において、委員のみなさまから貴重なご意見をいただき、学校運営に反映してきていますが、その仕組みをさらに発展させ、より多くの地域の方や保護者のみなさまと、学校と方向性を合わせ、一体となって子供たちの成長に関わっていただける仕組みとして、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を始めていきます。今後、小中一貫教育を実現していくにあたり、子供たちの家庭や地域での9年間の学びを一層充実したものにしていくためにも本制度の導入は必要だと考えています。

### 導入効果

保護者や地域の皆さん、教職員、いずれにも大きなメリットがあります。



### 活動のポイント

大きな導入効果を得るには、活動を進める上で大切なポイントがあります。

#### 共有

家庭・地域・学校で、学校課題や教育ビジョンなど、さまざまな情報を共有することが、地域と学校の協働活動を進める第一歩です。そして、課題解決の成功体験を積み重ねることが大切です。

#### 熟議

熟議とは、多くの当事者が集まり、議論を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。それぞれが果たすべき役割への理解を深めながら、多様な立場から課題解決策のアイデアを出し合います。

#### 協働

協働とは、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力して共に行動することです。共有された目的・目標に向かって、子どもに関わる多くの人々の協働により、学校運営の充実、改善につなげます。